

(2019年7月8日 鳥取版)

## 海産物や農産物 日野で収穫販売

### まげなもん祭



とれたての魚介類を見定める人たち（日野町で）

日本海で捕れた海産物や日野町内で収穫された農作物を楽しむ「<sup>うみせん やません</sup>海鮮・山鮮 まげなもん祭」が7日、同町根雨の金持テラスひので開かれ、家族連れらでにぎわった。

同町では、中海産の海藻・オゴノリを原料とする海藻肥料を使った米作りが盛んで、その米は境港市の小学校の学校給食に使われている。町と市の関係性を広く知ってもらおうと、日野川水系の環境保護活動に取り組むNPO法人「<sup>さきも</sup>未来守りネットワーク」が初めて企画した。

この日は、早朝に日本海で捕れたアジ、ヒラマサなどの水産物や、同町で収穫されたコシヒカリや野菜などが販売され、訪れた人たちが次々に買い求めた。会場ではカニ汁も振る舞われ、長い行列ができた。同法人の奥森隆夫理事長は「両自治体のつながりが、より深まるきっかけになれば」と話していた。